

国立国会図書館 関西館

Kansai-kan of the National Diet Library



関西館の概要

国立国会図書館の役割と関西館の設置目的

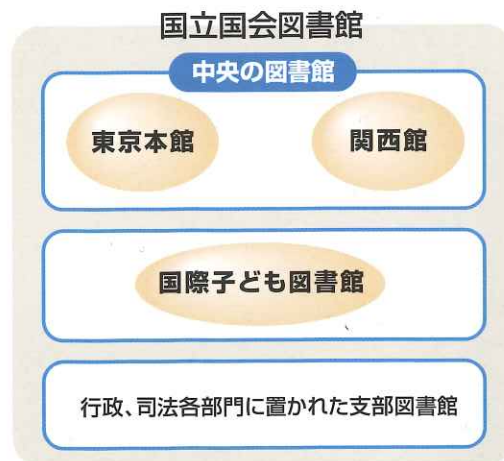
国立国会図書館は、昭和23年(1948)に設立された日本における唯一の国立図書館です。国会法第130条の「議員の調査研究に資するため、別に定める法律により、国会に国立国会図書館を置く」の規定に基づき、国立国会図書館法により設置されています。納本制度に基づいて、日本国内で刊行される出版物を広く収集し、保存に努めています。

また、外国の出版物については重点分野を定めて選択的に収集を行っています。これらの収集資料に基づいて、国会、行政及び司法の各部門並びに国民に対し、広くサービスを行っています。

国立国会図書館関西館は、資料の収蔵スペースを長期的に確保し、21世紀の高度情報化社会における資料・情報に対する需要に対応するとともに、近畿圏における大規模な調査研究図書館としての役割を果たすことを目的に、平成14年(2002)4月に京都、大阪、奈良の三府県にまたがる関西西文化学術研究都市に設置され、同年10月に開館しました。

■関西館の設置とその位置付け

関西館は、東京本館の機能を一部移して設置されました。関西館は、東京本館とともに中央の図書館を構成し、支部図書館である国際子ども図書館を含め三つの施設が機能を分担し、一体的にサービスを行っています。関西館には、総務課、文献提供課、アジア情報課、収集整理課、図書館協力課及び電子図書館課が置かれています。



東京本館の主な機能

全体の調整

- 国立国会図書館全体の統括
- 国内外の図書館との連携協力の企画立案

サービス

- 国会へのサービス
- 行政・司法各機関へのサービス
- 館内利用サービス
- 遠隔利用サービス
- レファレンス・サービス

基盤整備

- 資料収集方針・保存計画の策定と実施
- 全国書誌の作成

電子図書館事業

- 電子図書館サービスの企画立案

関西館の主な機能

サービス

- 遠隔利用サービスの窓口
- 館内利用サービス
- アジア情報サービス
- レファレンス・サービス

図書館協力事業

- 総合目録ネットワークの運営
- レファレンス協同データベースの構築、運営
- 図書館及び図書館情報学の調査研究と図書館員研修
- 障害者図書館協力事業

電子図書館事業

- 電子図書館コンテンツの構築とサービスの提供

東京本館の主な所蔵資料

- 納本制度により収集した国内の図書、雑誌、新聞、電子出版物
- 外国図書、外国新聞
- 専門コレクション：議会・法令資料、官庁・国際機関資料、古典籍資料、憲政資料、日本占領関係資料、地図資料、音楽・映像資料

関西館の主な所蔵資料

- 外国雑誌、利用の多い国内雑誌、科学技術関係資料、国内博士論文、文部科学省科研費報告書、学術文献録音図書
- 国内外の参考図書・基本図書、書誌・目録、官庁出版物等
- アジア言語資料、アジア関係資料

統計

数字で見る国立国会図書館(平成28年度)

蔵書数

総計	4,266万2,279点
図書	1,095万4,358点
雑誌・新聞	1,755万8,354点
マイクロ資料	913万3,074点
録音資料	72万5,941点
光ディスク(CD-ROM等)	14万577点
地図	56万7,079点
文書類	38万9,490点

年間受入点数

総計	79万5,757点
図書	20万4,374点
雑誌・新聞	53万4,438点
マイクロ資料	1万3,401点
録音資料	1万600点
光ディスク(CD-ROM等)	6,048点
地図	5,365点
文書類	4,546点

収蔵能力

- 東京本館 …… 1,200万冊
(本館450万冊、新館750万冊)
- 関西館 …… 600万冊
- 国際子ども図書館 …… 105万冊

国民に対するサービス

- レファレンス回答 …… 81万4,591件
- 閲覧点数 …… 233万2,191点
- 複写処理件数 …… 154万8,024件
- 来館者 …… 75万6,372人
 - 東京本館 …… 56万4,154人(1日平均2,022人)
 - 関西館 …… 7万428人(1日平均253人)
 - 国際子ども図書館 …… 12万1,790人(1日平均427人)

※ 関西館は、今後新たな書庫を段階的に整備し、将来的な収蔵能力は2,000万冊となる予定です。

関西館の所蔵資料数

(概数・平成29年9月現在)

- 図書
 - 和図書 …… 207万5,000点
 - 洋図書 …… 8万8,000点
- 逐次刊行物
 - 和雑誌・新聞 …… 6万8,000タイトル
 - 洋雑誌・新聞 …… 4万5,000タイトル
- 文部科学省科研費報告書 …… 16万9,000件
- 国内博士論文 …… 59万4,000人分
- 科学技術資料
 - 海外テクニカルレポート …… 264万8,000件
 - 海外博士論文 …… 47万6,000件
 - 海外学協会ペーパー …… 19万1,000件
 - 欧文会議録 …… 9万4,000件
 - 内外規格資料 …… 15万1,000件
- アジア言語資料
 - 図書 …… 47万7,000点
 - 雑誌・新聞 …… 9,000タイトル

主な電子図書館コンテンツ

(概数・平成29年10月末現在)

- デジタル化資料(館内限定公開含む)
 - 図書 …… 97万点
 - 雑誌 …… 129万点
 - 古典籍 …… 9万点
 - 博士論文 …… 14万点
 - 官報 …… 2万点
 - 憲政資料 …… 1,000点
 - 録音・映像関係資料 …… 4,000点
 - 歴史的音源 …… 5万点
 - 日本占領関係資料 …… 6万点
- ブランゲ文庫 …… 4万点
- 他機関デジタル化資料 …… 2,000点
- 電子書籍・電子雑誌 …… 102万件
- WARP(インターネット資料収集保存事業)ウェブサイト …… 12,000種
- レファレンス協同データベース …… 19万7,065件

館内利用サービス

約4,500㎡(100m×45m)の大空間に総合閲覧室とアジア情報室を隣接して配置しています。総合閲覧室には約9万冊の参考図書等と主要な雑誌・新聞、アジア情報室には約3万冊のアジア関係図書と主要な雑誌・新聞を開架しています。座席数は約360あり、その多くに資料検索用・電子資料閲覧用の端末を設置しています。そのほかの大部分の資料は書庫内に収蔵しており、請求手続により利用できます。関西館の主な館内利用サービスは以下のとおりです。

- 開架資料及び電子情報の利用
- 書庫内資料の利用及び予約(登録利用者のみ)
- 東京本館及び国際子ども図書館所蔵資料の取寄せ(登録利用者のみ)
- 研究テーマに応じた文献の調べ方や書誌・参考図書類の案内、類縁機関の紹介
- 所蔵資料の複写
- 研究室、共同研究室の利用

総合閲覧室の開架資料

人物情報事典やレファレンス事典等各分野の参考図書、抄録・索引誌、主要な雑誌・新聞、国内の官庁出版物・議会・法令資料、図書館情報学資料、全国の電話帳等を開架しています。

アジア情報室の開架資料

東アジア、東南アジア、南アジア、中央アジア、中東・北アフリカの地域に関する和・洋・アジア言語の参考図書、基本図書のほか主要な雑誌・新聞等を開架しています。

資料の利用

関西館の資料は、原則として満18歳以上の方であれば、どなたでも利用できます*。利用者登録申請には、住所、氏名、生年月日を証明する書類の提示が必要です。資料は、館内で閲覧できるほか、複写サービスの利用が可能です。障害のある方へのサービスの詳細については文献提供課までお問い合わせください。

*満18歳未満の方で関西館及び東京本館の所蔵資料の利用を希望される方には、個別にご相談に応じています。詳しくはホームページをご覧ください。

複写サービス

個人への図書館資料の貸出しは行っていませんが、著作権法で認められている範囲内で複写サービス(カウンターにて手続きが必要)を行っています。複写サービスのメニューには、申込み当日中に受け取る即日複写、郵送で受け取る後日郵送複写、利用者自身が複写機を操作するセルフ複写があります。

電子資料

国立国会図書館がデジタル化した資料、電子ジャーナルや新聞記事等のデータベース、CD/DVD-ROM等の電子資料が利用できます。一部を除いてプリントアウトが可能です。ただし、データをダウンロードして持ち帰ることはできません。



閲覧室



閲覧室



総合案内・アジア情報案内



4F

1F

B1F

エントランス

大会議室

中庭

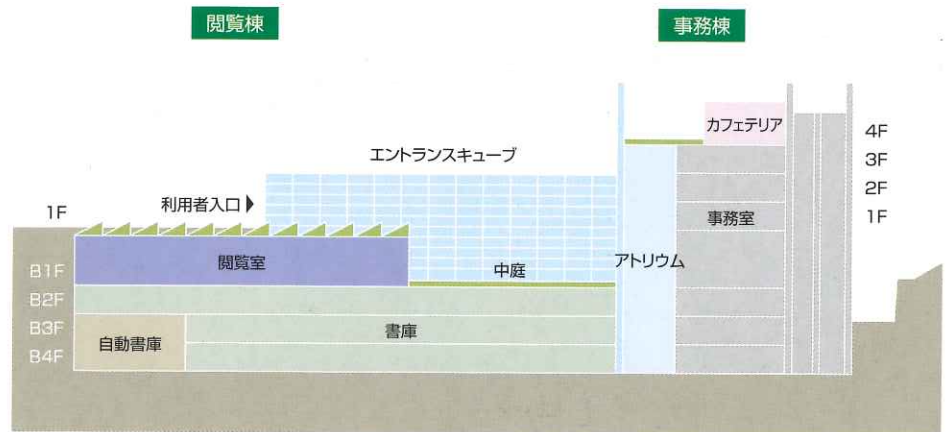
総合案内・
アジア情報案内

総合閲覧室

アジア

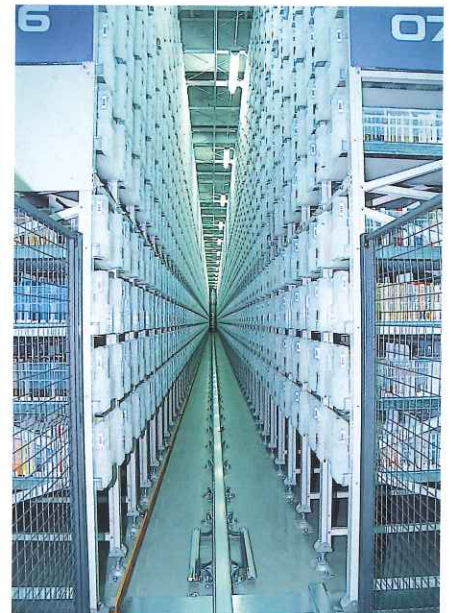
遠隔利用サービス

関西館は遠隔利用サービスの窓口として、来館せずに国立国会図書館所蔵資料を利用するための申込みを受け付けます。お近くの公共図書館等を経由して国立国会図書館所蔵資料の図書館間貸出しや複写の申込みができます。また、ホームページからは、インターネット経由での複写申込みも可能です(登録利用者のみ)。電話によるレファレンス・サービスも、主に関西館で受け付けます。



書庫

関西館の書庫には、固定式と可動式の書架があり、さらに、マイクロネガ資料を保管するためのマイクロネガ保存庫が設けられています。また、地下3階と4階の一部を吹き抜けにして約140万冊の収蔵能力を持つ自動書庫が設置されています。自動書庫では資料を納めたコンテナをバーコードで管理し、請求された資料がコンテナ単位で呼び出されます。書庫内の温湿度は資料保存のため22℃、55%を目安に大きな変化がないように保ち、消火設備には水を使ったスプリンクラーではなく窒素ガスを使用しています。



自動書庫

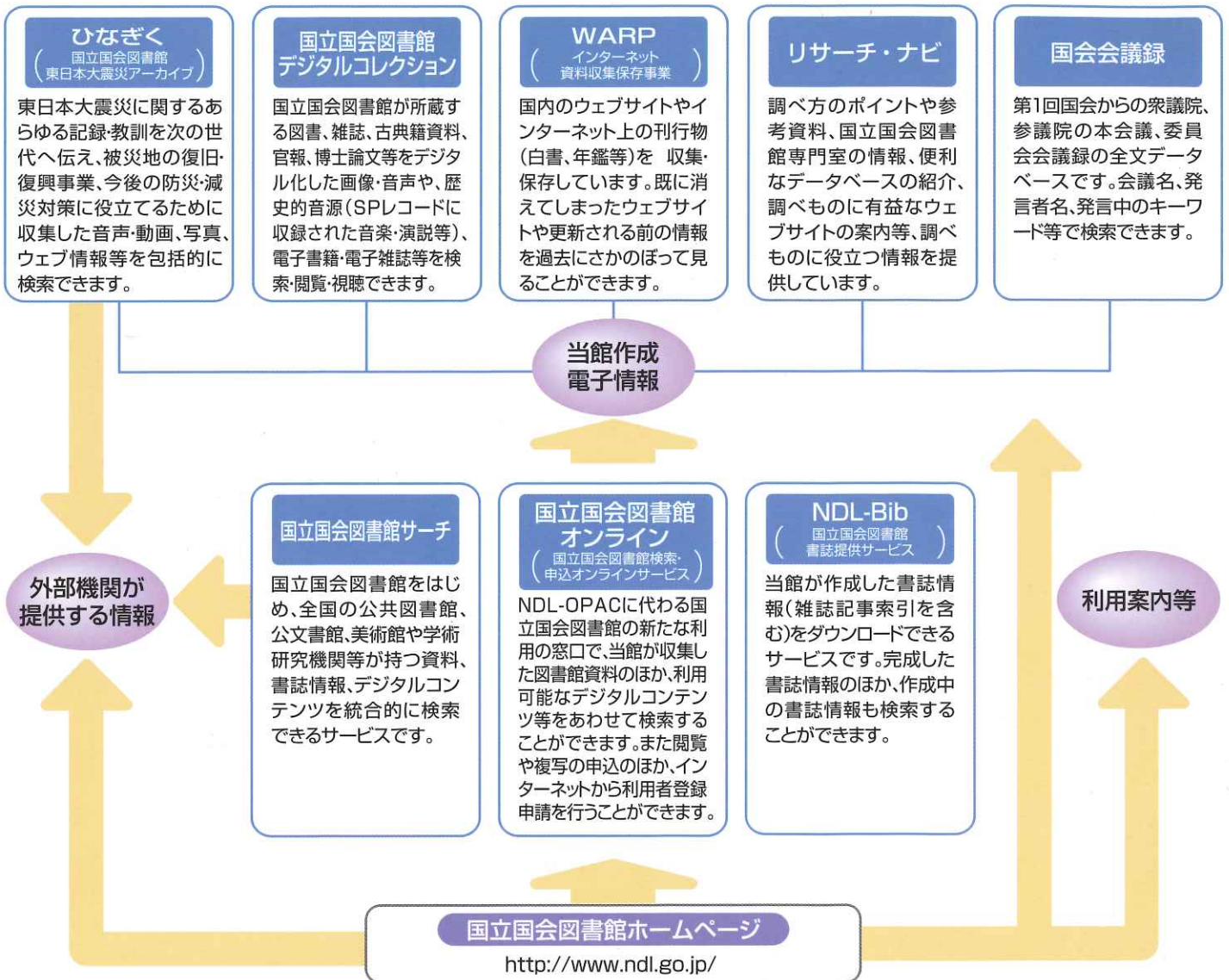


固定書架



電子図書館サービス

国立国会図書館は、情報通信ネットワークを介して行う電子情報を活用した電子情報サービスを積極的に実施しています。電子化した資料等を「いつでも、だれでも、どこからでも」利用できることを目指しています。電子図書館の各コンテンツには国立国会図書館のホームページからアクセスできます。



国立国会図書館デジタルコレクション



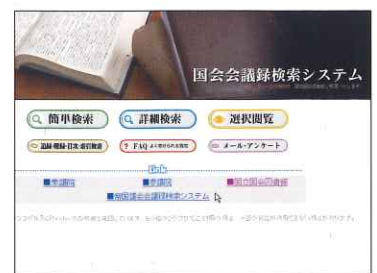
リサーチ・ナビ



ひなぎく
(国立国会図書館東日本大震災アーカイブ)



WARP(インターネット資料収集保存事業)



国会会議録

電子図書館事業

国立国会図書館のインターネットを通じた電子情報サービスは、全体の企画、立案を東京本館が行い、関西館はそれに基づき、電子図書館に係る情報システムの開発・運営・調査、電子図書館コンテンツの収集、作成及び提供を行っています。

国立国会図書館はこれまでも新しい情報技術を積極的に取り入れ、様々な電子情報サービスを提供してきましたが、今後も、提供する電子図書館コンテンツを一層拡充するとともに、新しい技術を取り入れ、より使いやすいサービスを提供していきます。

●電子図書館コンテンツ●

国立国会図書館が所蔵する図書、雑誌等をデジタル化し、著作権処理を行ったものをインターネットで提供しています。著作権処理が済んでいないデジタル化資料は国立国会図書館の施設内でのみ提供していますが、そのうち絶版等の理由で入手が困難な資料については、承認を受けた公共図書館・大学図書館等にデジタル画像を送信し、各図書館で本文画像を閲覧・複写できます(図書館向けデジタル化資料送信サービス)。

●インターネット情報の収集・保存●

ウェブサイトを集積する「インターネット資料収集保存事業(WARP)」を行っています。国の機関、地方自治体、法人・機構、公益法人、大学、政党、イベント、東日本大震災に関するサイト等を収集しています。収集したウェブサイトのうち発信者からの許諾を得られたものは、ホームページを通じてインターネットで提供しています。また、インターネット等で出版(公開)される電子情報で、図書または逐次刊行物に相当するオンライン資料(電子書籍・電子雑誌)も収集し、提供しています。

●研究開発事業●

数百年といわれる紙媒体の寿命と比べて電子情報を保存、提供、利用するためのシステムの寿命は非常に短いものです。国立国会図書館では、電子図書館コンテンツやインターネット情報等の様々な電子情報の長期的な保存・利用を実現するため、NDLデジタルアーカイブシステムを運用しています。また、消失しやすい電子情報を後世に伝えるための電子情報保存の調査研究を行っています。

図書館協力事業

国立国会図書館は、東京本館、関西館、国際子ども図書館の三施設で分担して図書館に対する協力事業を行っています。東京本館は図書館協力事業の方針の策定と、国際協力(文献提供サービス等は除く。)の窓口を担っています。関西館は、図書館協力事業(総合目録ネットワーク事業、レファレンス協同データベース事業、図書館及び図書館情報学の調査研究事業、研修交流事業、障害者図書館協力事業、ISIL(図書館及び関連組織のための国際標準識別子)の付与・管理等)の実施と文献提供サービスの窓口を担っています。国際子ども図書館は、児童サービスに係る類縁機関、学校図書館等との協力業務を担っています。国立国会図書館では三施設が一体的に機能し、図書館協力事業の一層の充実を図っています。

●協力ネットワーク事業●

総合目録ネットワーク事業、レファレンス協同データベース事業等のインターネットを介した事業を企画・運営しています。データベースは一般にも公開しています。

●図書館及び図書館情報学の調査研究事業●

図書館及び図書館情報学の最新動向等を調査するとともに、その成果を刊行物等により公表しています。また、ウェブサイト「カレントアウェアネス・ポータル」で、刊行物の電子版と、メールマガジン、ブログ記事を提供しています。

●研修交流事業●

国立国会図書館に来館して受講する集合研修、国立国会図書館の職員を各地の研修会等に講師として派遣する講師派遣型研修、インターネット上で展開する遠隔研修等、国内外の各種図書館員を対象とした研修を実施しています。また、これら研修の実施を通じて図書館等との交流を進めています。

●障害者図書館協力事業●

「点字図書・録音図書全国総合目録」の作成及び提供、学術文献録音図書の製作及び貸出、図書館等で作成した視覚障害者専用データの収集及びそのデータと当館製作のデータを図書館等と視覚障害者等個人へ送信するサービスを行うとともに、障害者に対する図書館サービス等に関するレファレンス等を行っています。

館内利用案内

■利用できる人／原則として満18歳以上の方

※満18歳未満の方で関西館及び東京本館の所蔵資料の利用を希望される方には、個別にご相談に応じています。詳しくはホームページをご覧ください。

■資料の利用／館内利用のみ(館外への持ち出しはできません。)



■利用時間

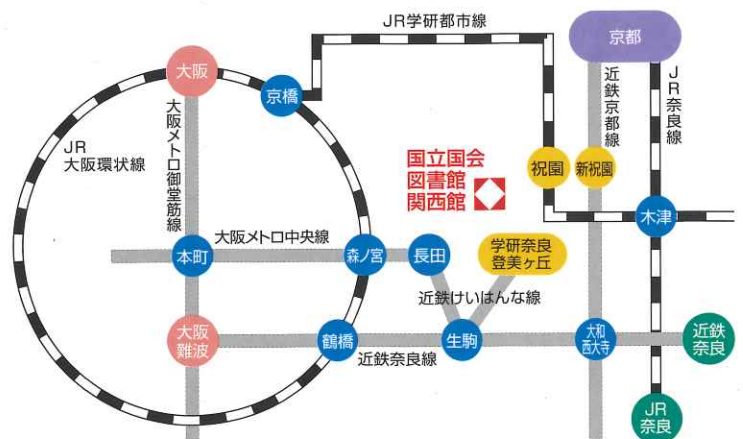
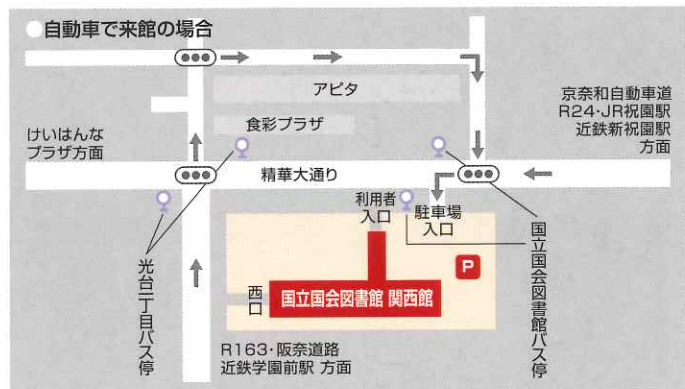
開館時間		9:30~18:00
閲覧サービス	閲覧時間	9:30~18:00
	書庫資料請求の受付(登録利用者のみ)	10:00~17:15
	資料取寄せの受付(登録利用者のみ)	9:30~17:30
複写サービス	即日複写受付	9:30~17:00
	電子情報の印刷(マイクロ資料の印刷を含む)	9:30~17:00
	セルフ複写受付	9:30~17:30
	後日複写受付(登録利用者のみ)	10:00~17:45
資料案内(レファレンス)		9:30~18:00
利用者登録受付		9:30~18:00

■休館日／日曜日、国民の祝日・休日、年末年始、毎月第3水曜日(資料整理休館日)

このほか、災害等の緊急時に臨時に閉館することがあります。

この場合は国立国会図書館ホームページ、Twitter等でお知らせします。

アクセス



■公共交通機関によるアクセス

- 近鉄京都線「新祝園駅」・JR学研都市線「祝園駅」から
奈良交通バス/36番系統「光台循環」
56、58、59番系統「学研奈良登美ヶ丘駅」
46番系統「光台三丁目」
47番系統「ATR」

「国立国会図書館」バス停下車

- 近鉄けいはんな線「学研奈良登美ヶ丘駅」から
奈良交通バス/56、59番系統「祝園駅」
- 「国立国会図書館」バス停下車

■駐車場／約200台駐車できます(無料)

国立国会図書館関西館

〒619-0287 京都府相楽郡精華町精華台8-1-3

TEL.0774-98-1200(代表、自動音声案内)

■ホームページ <http://www.ndl.go.jp/jp/kansai/index.html>

平成30年3月発行



国立国会図書館



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。